

ミルククーラー

Brewmatic BC9C-L

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

目次

安全上のご注意	3
主な仕様	6
添付品	6
各部の名称	7
準備	8
取扱い方法	8
自動霜取りについて	11
トラブルシューティング	12
保証とアフターサービスについて	13
保証書	14

-安全上のご注意 (安全に関する重要事項です必ずお読みください)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。（但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。）
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、コールセンターに連絡をしてください。
(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性がある時には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはコールセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水や材料、カップなどが無く、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。

- 長時間製品を使用しない時は、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水や材料、カップなどを全て取り出し、洗浄を行ってください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用する時は十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用する時には、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- 本来の目的以外には使用しないでください。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



警告

- 本体に供給する電源の工事を行なう場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行なうなど、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしったりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。



注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は5～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらないように周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。

操作を行なう時の注意事項



- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、使用前に清掃してください。
- ドアを開けたり閉めたりする時、ドアに手を挟まないよう注意してください。怪我の原因になります。
- 前面上部のパネル部分（アクリル製）にアルコール類を使用すると破損します。使用しないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

注釈について

- 使用する時に注意していただきたい内容の説明です

注意

- 使用上のアドバイスや知っておくと便利なことを説明しています。

参考

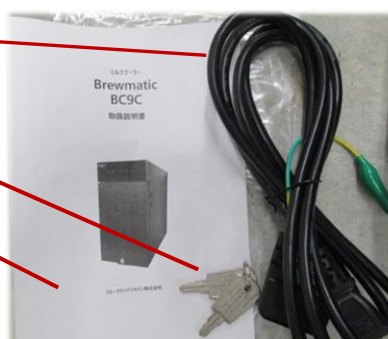
主な仕様

項目	仕様
幅	220 mm
高さ	456 mm
奥行き	452 mm
重量	14.4 kg
電気容量	75W (150VA)
使用電源	AC 100V 50/60Hz
庫内設定温度	0°C~8°C
電源コード	約 1.8m
使用温度・保管温度	5°C~35 °C
使用湿度	80% 以下

自動霜取り機能搭載

添付品

- ・電源コード 1本
- ・ドアキー 2個
- ・取扱説明書 1冊



- ・ミルクチューブ孔キャップ 左右各 2 個
(本体に取り付け済み)



各部の名称




準備

1. 付属の電源コードを本体背面の電源インレットに接続します。
2. 電源プラグを AC100V のコンセントに接続します。
3. ミルクパックを本体庫内に収納し、コーヒーマシンからのミルクチューブをミルクパック内に挿入します。

取扱い方法


電源のオン、オフ

1. 電源プラグを差し込み、ディスプレイに **oF** 表示が出ている場合は、電源ボタン  を約 2 秒長押ししてください。電源がオンになります。
2. ディスプレイに数字が表示されている場合は、電源オンの状態です。







参考

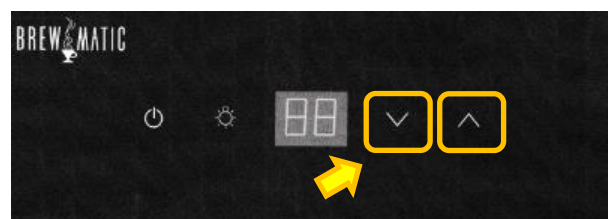
oF 表示か温度表示かは、最後に電源を切った時の状態によります。電源スイッチでオフした場合は、次回オン時に **oF** 表示で動作を開始し、電源プラグを抜いて動作を止めた場合は、温度表示をして動作を開始します。（電源を切った時の状態を維持しています）

3. 動作が始まると、ディスプレイには庫内温度が表示されます。
4. 電源を切る場合は、電源ボタン  を約 5 秒長押ししてください。ディスプレイに **oF** が表示され電源オフとなります。キーロック機能が動作している場合は、ロックを解除してから操作してください。



温度設定

1. 庫内温度の設定は   ボタンをタッチして行います。
2.  ボタンを押すと設定温度が下がり、 ボタンを押すと設定温度が上がります。

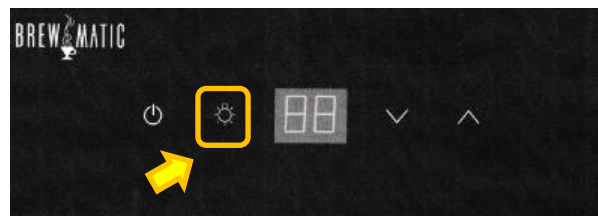


3. 設定したい温度の数値になったら指を離してください。数字の点滅が止まると設定温度が記憶されます。温度設定できる範囲は 0°C～8°Cです。キーロック機能が動作している場合は、ロックを解除してから操作してください。

庫内照明

1. 庫内のLED照明を点灯させる時は、照明ボタン  をタッチします。



もう一度タッチすると、照明がオフになります。キーロック機能が動作している場合は、ロックを解除してから操作してください。

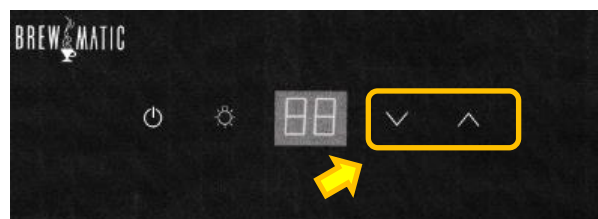


注意

照明がオンの時、ドアを閉めている場合でも照明は点灯したまま動作します。

キーロック機能について

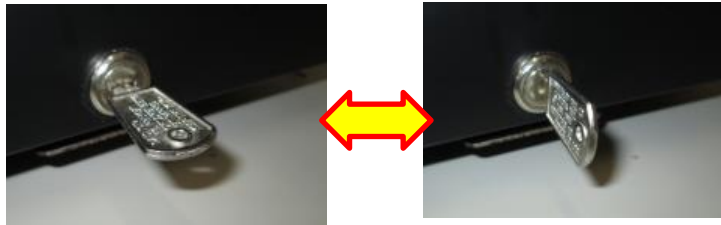
1. 本機のタッチキーは、最後に操作をしてから1分経過するとピッと音が出てキーロックされます。キーロックされると、温度設定、庫内照明、電源スイッチのいずれのボタンもロックされ、設定状態を変更することが出来なくなります。
2. キーロックを解除する場合は、温度設定の   ボタンを同時にタッチし、タッチしたまま5秒間待ちます。



3. 5秒経過するとピッと音が出て、キーロックが解除されます。解除されたら、必要な設定を行ってください。最後に操作してから1分経過すると、自動的にキーロック機能が動作します。

ドアキーについて

1. ドアキーはキーを差し込み、右に回すと施錠されます。左に回すと解錠されます。
ドアロックした場合は、ドアキーを無くさない様ご注意ください。



解錠(横向き)

施錠(縦向き)

清掃について

本機は定期的に清掃し、清潔に保ってください。清掃には中性洗剤をお使いください。

1. 毎日のお手入れ
扉や取っ手、庫内は柔らかい素材の布巾を使い清掃してください。
また、ドアパッキンやドアの内側などにミルクが付着した場合は、その都度清掃してください。
2. 週に一度のお手入れ
ドアパッキンの隙間、ドアの内側、庫内各面を中性洗剤を含ませた柔らかい布巾で拭き、5分ほど経過したら水ですすぎ固くしぼった清潔な布巾で拭き上げてください。
また、ドアや本体外装部分も同様に清掃してください。
3. 月に一度のお手入れ
本体背面に溜まったゴミやほこりをブラシや掃除機を使って取り除いてください。

注意

- ・飛び跳ねたミルクや汚れを放置すると雑菌などが繁殖するおそれがあります。
- ・ペーパータオル等厚めで硬い素材での清掃は避けてください。
塗装が落ちる場合があります。
- ・酸性・アルカリ性洗剤、漂白剤は使用しないでください。劣化の原因になります。

自動霜取りについて

1. 電源を入れて8時間経過すると、自動的に霜取りモードとなります。
2. 霜取りモードに入ると、ディスプレイに d F が表示されます。
3. 霜取り中は冷却動作が停止しているため、極力ドアの開閉は行わないようお願いいたします。
4. 霜取りの時間はおよそ30分です。霜取りが終わると通常動作に戻り、ディスプレイには庫内温度が表示されます。



参考

霜取りで排出された水は、本体底面の排水トレイに溜まりますが、自動的に蒸発する構造のため、排水作業の必要はありません。

トラブルシューティング

症状	確認項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーカーが落ちていないか確認してください。 ・コンセントが抜けていないか確認してください。 ・本体背面の電源インレットが抜けていないか確認してください。
温度設定、電源、照明のボタンをタッチしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ・キーロック機能が働いている可能性があります。キーロック機能を解除してから操作してください。ロック機能が解除できない場合は、一度電源コンセントを抜き、再接続してください。
ドアが閉まらない	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアのパッキンに変形や破れが無いことを確認してください。
ドアが開かない	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアキーで施錠されていないか確認してください。鍵穴が縦方向に向いている場合は施錠されています。
クーラー本体底面から水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ・霜取りした水があふれている可能性があります。庫内に霜が多くついていないか確認してください。庫内に霜が多いのはドアを頻繁に開閉する考えられます。ドアの開閉を極力抑え、それでも水が漏れる場合はコールセンターに連絡してください。
庫内が冷えない	<ul style="list-style-type: none"> ・dF表示（霜取り動作）が出ている場合は暫く待って、温度表示が表示されるまでお待ちください。 ・扉が開いていないか、また長時間扉が開いたままになっていなかったか確認してください。 ・本体背面に埃が溜まっていないか確認してください。もし埃が溜まっている場合は清掃してください。
ミルクを吸い上げない	<ul style="list-style-type: none"> ・チューブの挟み込みや、チューブの折れ曲がりがないか確認してください。
ディスプレイに E1 と表示されている	<ul style="list-style-type: none"> ・温度センサーのエラーです。一度電源を切ってから、再度電源を入れてください。通常の温度表示に戻らない場合は、コールセンターに連絡してください。

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らない時は電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社
045-947-0804

受付時間:365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 ミルククーラー BC9C-L |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

マシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行なってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生した場合は直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書 (業務用マシン)	
型 名	ミルククーラー BC9C-L
シリアル番号	
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※ お 客 様	お 名 前
	住 所
	〒
	電話 ()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「預かり修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます。）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で目づ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行えず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合（事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。）

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご連絡ください。ご連絡いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご連絡ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法は異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損害。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損害（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等）の外部要因事由に起因する故障及び損害。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損害。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損害。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む。）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損害。
17. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事象に起因する故障及び損害。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時までに発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社: 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

<http://www.brewmatic.co.jp/>



240513